

青森県における野生鳥獣による農作物被害状況（令和6年度）

1 被害面積及び被害額

- (1) 被害面積は約 19ha、被害額は 6,454 万円で、前年度に比べて、被害面積は約 5 割の減少、被害額は約 3 割の減少となりました。
- (2) 鳥獣の種類別では、被害額が大きい順にニホンジカ、イノシシ、カラス、ツキノワグマ、ニホンザルとなっており、特にニホンジカによる被害が急増しました。一方で、前年度、被害額が最も多かったツキノワグマは大幅に減少しました。
- ① ニホンジカは、被害額が過去最多で、前年度比 281% の 1,937 万円となりました。
- ② イノシシは、被害面積及び被害額が過去最多となったほか、新たに下北地域で被害が確認され、県内全域に被害が拡大しています。
- ③ カラスは、昨年まで減少傾向でしたが、前年度と比べると被害面積及び被害額ともに増加しました。
- ④ ツキノワグマは、被害額が過去最多となった前年度に比べて 85% 減少しました。
- ⑤ ニホンザルは、近年増減を繰り返しており、前年度と比べると被害面積及び被害額ともに減少しました。

表 野生鳥獣による農作物被害の推移

(単位 : ha、万円)

被害順位 (R6)	鳥獣の種類	R2年度 (2020年度)		R3年度 (2021年度)		R4年度 (2022年度)		R5年度 (2023年度)		R6年度 (2024年度)		R6/R5 2024/2023	
		被害面積	被害額	被害面積	被害額								
③	カラス	4.14	1,817	3.17	1,428	2.21	988	1.24	606	1.47	684	118%	113%
	ヒヨドリ	0.90	385	0.15	68	0.75	346	0.37	156	0.65	301	175%	193%
	ムクドリ	1.02	430	0.28	121	0.43	198	0.56	261	0.45	199	81%	76%
	スズメ	1.11	186	0.94	152	0.52	103	0.38	63	0.20	41	54%	65%
	カモ	1.45	161	0.82	111	0.10	14	1.22	162	0.38	88	31%	54%
	その他鳥類	0.16	27	0.00	0	0.00	0	0.62	260	0.69	85	112%	33%
	鳥類計	8.78	3,005	5.36	1,881	4.01	1,649	4.38	1,507	3.84	1,397	88%	93%
①	ニホンジカ	0.25	44	0.48	13	1.36	348	4.25	690	2.98	1,937	70%	281%
②	イノシシ	0.43	34	0.45	138	1.60	530	5.46	747	5.70	1,376	104%	184%
④	ツキノワグマ	7.71	1,078	4.56	723	2.21	496	12.37	4,161	1.93	610	16%	15%
⑤	ニホンザル	3.50	975	6.48	1,107	2.25	790	6.68	1,248	3.28	542	49%	43%
	ハクビシン	3.37	338	1.08	124	1.30	362	1.42	623	0.38	291	27%	47%
	アライグマ	0.75	219	1.65	333	0.52	164	0.65	140	0.46	236	70%	169%
	その他獣類	0.36	89	1.02	201	0.83	373	0.18	46	0.11	67	60%	146%
	獣類計	16.37	2,776	15.72	2,638	10.07	3,063	31.02	7,654	14.84	5,058	48%	66%
	合計	25.15	5,781	21.08	4,519	14.08	4,712	35.40	9,161	18.68	6,454	53%	70%

※端数の四捨五入により、合計値や対前年比の計算結果と一致しない場合がある。

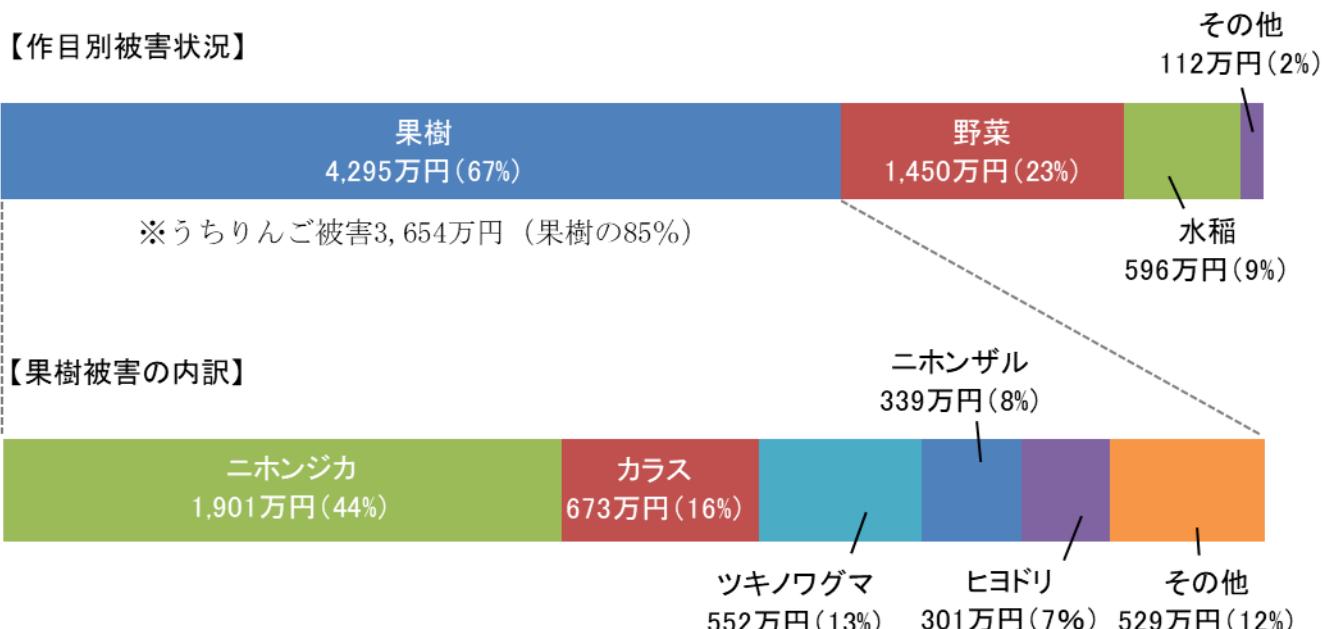
※調査は、国の「野生鳥獣による農作物の被害状況調査要領」に基づき、自家消費用の作物を除く農作物を対象にしている。

2 作目・地域別被害状況

(1) 作目別被害状況

作目別の被害額は、果樹が4,295万円で最も多く、次いで野菜が1,450万円、水稻が596万円などとなっており、果樹が全体の約7割を占めています。

このうち、果樹では、ニホンジカが1,901万円と約4割を占め、次いでカラスが673万円、ツキノワグマが552万円などとなっています。

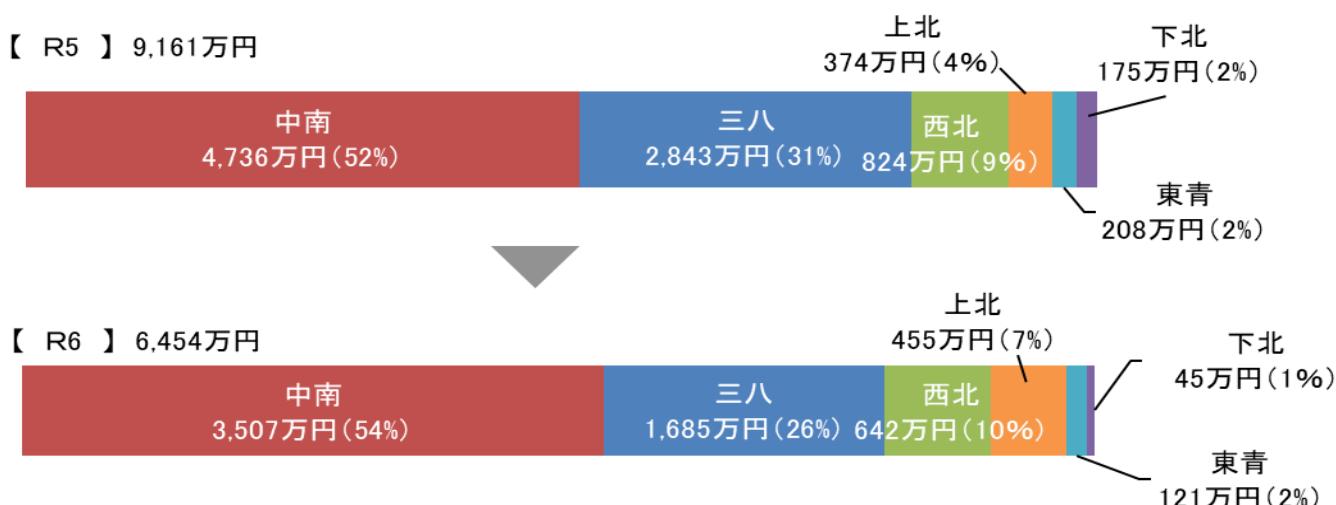


※端数の四捨五入により、合計値や対前年比の計算結果と一致しない場合がある。

(2) 地域別被害状況

地域別の被害額は、中南地域が3,507万円（前年度対比74%）、三八地域が1,685万円（同59%）、西北地域が642万円（同78%）などとなっており、この3地域で県全体の被害額の9割を占めています。

また、令和5年度と比較すると、上北地域以外では被害が減少しました。



※端数の四捨五入により、合計値や対前年比の計算結果と一致しない場合がある。